



協働のまちづくりセミナー

市民一人ひとりの参加と協働でつくる
ゆたかな森 うつくしい里山

森は、水をきれいにする、土砂災害を防ぐ、二酸化炭素を吸収するなど私たちの暮らしを守ってくれています。荒れてしまった森を一人ひとりの参加と協働で再生する取組をお話しいたします。



◎講師：塚本竜也さん

NPO 法人トチギ環境未来基地

日 時：1月18日(月) 10:00~12:00

場 所：栃木市市民交流センター1階大交流室

くららフェスタ実行委員会

くららフェスタ 2024 を開催します

栃木市をよりよくしようと活動している約 60 団体が大集合！出会いと交流を広げよう。

日 時：3月10日(日) 11:00~15:30

場 所：栃木市市民交流センター1階~4階

内 容：活動に関する展示・体験・発表・販売
多文化共生子ども食堂、多文化共生サロン、スタンプラリーなど

ユース向けボランティア紹介公式 LINE

「蔵の街ユースインフォメーション」がスタート！

詳しくは、裏表紙をチェック！

市民活動推進講座

(仮) 動物福祉を考えよう

動物福祉（動物にとってストレスや苦痛の少ない飼育環境を目指す考え方）について考えてみませんか？

◎講師：青山真人さん

宇都宮大学農学部 准教授

日 時：2月24日(土) 14:00~16:30

場 所：栃木市市民交流センター1階大交流室



くららで話そ！

キニナル栃木人と話そ！

農業に関わる方、興味がある方をつなぐ活動をはじめ、戸田さんが様々な市民活動に積極的に取り組むワケとは？

日 時：1月25日(木) 18:00~19:30

場 所：栃木市市民交流センター
1階交流スペース

ゲスト：戸田良訓さん（ファーマーズコネクト、大平わいわいテラス）



くららの SNS



Facebook



X
(旧 Twitter)



Instagram



「くららで話そ！」

報告

くららに来て、みんなで話そ！
参加無料・予約不要・お気軽に！

第314回 11月24日(金) 19:00~20:30
不登校の過去・現在から日本の未来を考える
～不登校に替わる言葉を考えよう～

ゲスト：栃木登校拒否を考える会・栃木自主夜間中学 石林 正男さん

子どもに教育を受けさせることは親の義務だが、必ずしも学校に行かせなくてもいい。足に合わない靴を履かせるような学びではなく、フリースクールやITを使った学びなどもっと個々に合わせた学びの選択肢を増やしていけたらいい。学校以外の多様な学びの場をもっと知ってもらいたい。最近不登校に関する法整備が進められ、学校復帰前提という方向性から社会的自立を目指す方向性になってきた。ただ、依然として学校復帰を前提とする風潮も残っている。時には、何もしないことを認めるということも大切だ。不登校支援の活動を親や親の会はもちろん、全国の親の会、教育委員会などの行政とも連携しながら行っている。今後も横のつながりを大切にしていきたい。



参加者から“不登校ブランド”や“選択登校”といった
今までの不登校のイメージを覆すような新しい学び
の形を表す言葉が飛び出しました！



助成金情報



認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

ファミリーマート夢の掛け橋募金 こども食堂スタート応援助成プログラム

ファミリーマート「夢の掛け橋募金」を原資にこども食堂の立ち上げを志す皆さまを応援します。

対象団体：日本国内において、これからこども食堂を開設する団体（法人格の有無は問わない）

団体名義の口座をもっているまたは開設する団体

助成額：8万円（上限600団体）

対象期間：2023年12月1日（金）～2024年6月30日

応募締切：2024年2月16日（金）

問合せ：全国こども食堂支援センター・むすびえ E-mail kaisetsu_ouen@musubie.org



公益財団法人日本国際交流センター

外国ルーツ青少年の自立をささえる進路・キャリア支援事業

外国ルーツの若者が自分の将来が描けない状況の改善に向けて、学校、企業と連携した外国ルーツの若者のライフスキル、職業能力の獲得をささえるプログラムの開発・実施、高等教育への進学を含む進路選択を拡大するための手法などの活動に対して助成します。

助成額：上限1,300～1,600万円（3か年）

応募締切：2024年2月7日（水）

問合せ：日本国際交流センター E-mail youth@jcie.jp





登録団体からのお知らせ・イベント情報



栃木市栃木図書館・栃木図書館友の会 昭和「あるある」講座 第2回

昭和の時代はごく普通に使っていた、あの「日用品」。もう引退してるけど、この日ばかりはお持ちいただき、現役時代のお話を聞かせてください。当日は「物売りの声」もお聞かせします。
日 時：2024年1月25日（木）14：00～15：30
場 所：栃木市栃木図書館 2階会議室・視聴覚室
定 員：30名
問合せ：栃木市栃木図書館
TEL 0282-22-3542

蔵の街ビブリオバトル実行委員会 蔵の街ビブリオバトル in 栃木市栃木図書館

推し本への愛を5分で語るのだ。
日 時：2024年1月27日（土）14：00～
場 所：栃木市栃木図書館
定 員：8名（先着順）
特 典：出場者全員に図書カードをプレゼント
問合せ：栃木市栃木図書館
TEL 0282-22-3542
★参加申込はこちらから→



栃木市立文学館・田村律之助顕彰会 親子体験教室「麦を学ぼう！麦踏体験」

栃木市立文学館の企画展に関連したイベントです。
日 時：2024年1月28日（日）10：30～12：00
場 所：永田農園
定 員：20名
参加費：大人200円、中学生以下100円
（未就学児無料）
申込み：1月10日（水）午前10時から電話受付
問合せ：栃木市立文学館
TEL 0282-25-5400

ネットワークとちぎ 『栃木町に県庁があった頃』展

明治初期の栃木町にタイムスリップして、楽しんでみませんか。
期 間：2023年12月～2024年2月
場 所：旧永楽屋薬舗見世蔵
（山本有三ふるさと記念館向い）
内 容：ショーウィンド・見世蔵内の展示
※ショーウィンドは、いつでもご覧いただけます。
見世蔵内展示は、期間中の土・日（不定期）で、午後1～2時間程度ご覧いただけます。
問合せ：ネットワークとちぎ TEL 0282-22-1093

STAND BY YOU 男性介護者のつどい

STAND BY YOUは認知症の人と家族を支援するチームです。チームの活動のなかで、男性の介護者から「同じ境遇の仲間と話がしたい、気持ちを分かり合いたい。」という声が聞かれ、集会を開くことになりました。ぜひ、ご参加ください！！
日 時：2024年1月24日（水）10：00～12：00
場 所：大平図書館 2階視聴覚室
問合せ：STAND BY YOU TEL 0282-45-2770
大平地域包括支援センター
TEL 0282-43-9226

栃木県 とちぎ地域・森づくりフォーラム

「とちぎの里山林のフル活用」をテーマに、フォーラムを開催します。
日 時：2024年1月31日（水）13：30～16：00
場 所：栃木県庁 研修館4階講堂
内 容：基調講演「育林視点から見た里山林のフル活用と課題」・事例紹介等
問合せ：公益社団法人とちぎ環境・みどり推進機構
TEL 028-624-3710

お知らせ ユース向けボランティア紹介サービス「蔵の街ユースインフォメーション」がスタートしました。

今年「ユース（若者）世代」に関する活動が目立った1年でした。くららで実施している「蔵の街高校生ボランティアスクール」では、64名もの高校生が市内の公共施設や市民活動団体等で活動に励みました。ボランティアスクール実施前に、受入先となる団体等に向けて高校生と大人が一緒



に楽しめる活動を考えるワークショップ形式の講座も行いました。ほかにも、まちづくりを中心とした活動を行う高校生団体「とちぎ高校生蔵部」が『栃木の街散策マップ～ラーメン編～』を作成。全国で多岐にわたりユースを支える実践者たちが一堂に会し、各々の活動を共有しあう「ユースワークキャンプ」が都内で初開催など。

“ユース”に関する活動が盛り上がりを見せる中、市内により目を向けてみると、本市には9校もの高校があり、約6千人もの高校生がいます。とちぎ高校生蔵部やボランティアスクールなどがあり、一見、ユース世代の活動が盛んと思われるまちです。ところが、その他の高校生、さらには中学生・大学生世代など、広くユース世代の声を聞く場面が少なく、“大人が若者の声に耳を傾けているようで傾けていない”のが現状です。

そんな現状を少しずつでも変えていこうと始まったのが「蔵の街ユースインフォメーション」です。蔵の街ユースインフォメーションは、多様な活動をしている市民活動団体とボランティアをしたい・興味がある若者をつなぐ、ボランティア紹介サービスです。普段、くららを利用している市民活動団体の皆さんのニーズ（＝小さな地域課題）をお聞きして一緒に活動内容を考え、公式LINEを活用してユースに向けて情報を発信し、市民活動団体とユース世代をつなぐサービスとなっています。

◎ユース向け利用方法

- 【対象】
12歳～29歳くらいの方
- 【利用方法】
- ①QRを読み込んで公式LINEに登録
 - ②募集記事を見てやりたいボランティアを見つける
 - ③公式LINEに連絡する
 - ④市民活動団体とやり取りする
 - ⑤当日、ボランティアに行く！



◎市民活動団体向け活用方法

- 【対象】
栃木市内で活動する市民活動団体
- 【利用方法】
- ①まずはくららにお問い合わせください
 - ②くららスタッフとボランティア内容を打ち合わせ
 - ③一緒にボランティア告知を考える
 - ④公式LINEを使ってボランティアを募集
 - ⑤当日のボランティア実施



蔵の街ユースインフォメーションでは、ユース世代を市民活動団体とつなぎ、出会いを仕掛けることによって、ユース自身が居場所と感じる場所を多くつくりたいと考えています。ユース世代の活動が活発になる中で、「自分はこうしたい、こうしたほうがもっと活動が良くなると思う」という、それぞれの考えや思いを地域社会に届け、ユース世代が様々な世代と手を取り合って小さな地域課題を解決し続ける景色を目指しています。

蔵の街ユースインフォメーションでは、「若者に活動に参加してもらいたい」という市民活動団体を随時募集中です。ご連絡お待ちしております。

とちぎ市民活動推進センターくららとは

ボランティア、NPO、社会貢献活動などの市民活動を推進する拠点です。栃木市をよりよくしようと、さまざまな分野で活動している市民の皆さんの意見交換や交流、情報収集・発信の場として活用されています。



開館時間 月～土 10:00～21:00 日・祝 10:00～17:00
 休館日 水曜日・年末年始
 〒328-0016 栃木県栃木市入舟町6-8 栃木市市民交流センター内
 TEL 0282-20-7131 FAX 0282-20-7132
 E-mail kurara-tochigi@cc9.ne.jp
 ホームページ <http://www.kurara-tochigi.org>

編集後記

※くららは、NPO 法人ハイジが栃木市の委託を受けて管理運営しています

冬の楽しみはなんですか？と聞かれたら、星を見ることと答えます。冬は空が澄んでいて、星がきれいに見えます。去年だったら、鍋とか肉まんとか食べ物ばかり思いついたと思います。みなさんはこの冬をどんな風に過ごしますか？（大塚）

登録団体数：240団体
 会員数：21,376名
 （令和6年1月1日時点）